

1 防災行政無線通信網の概要

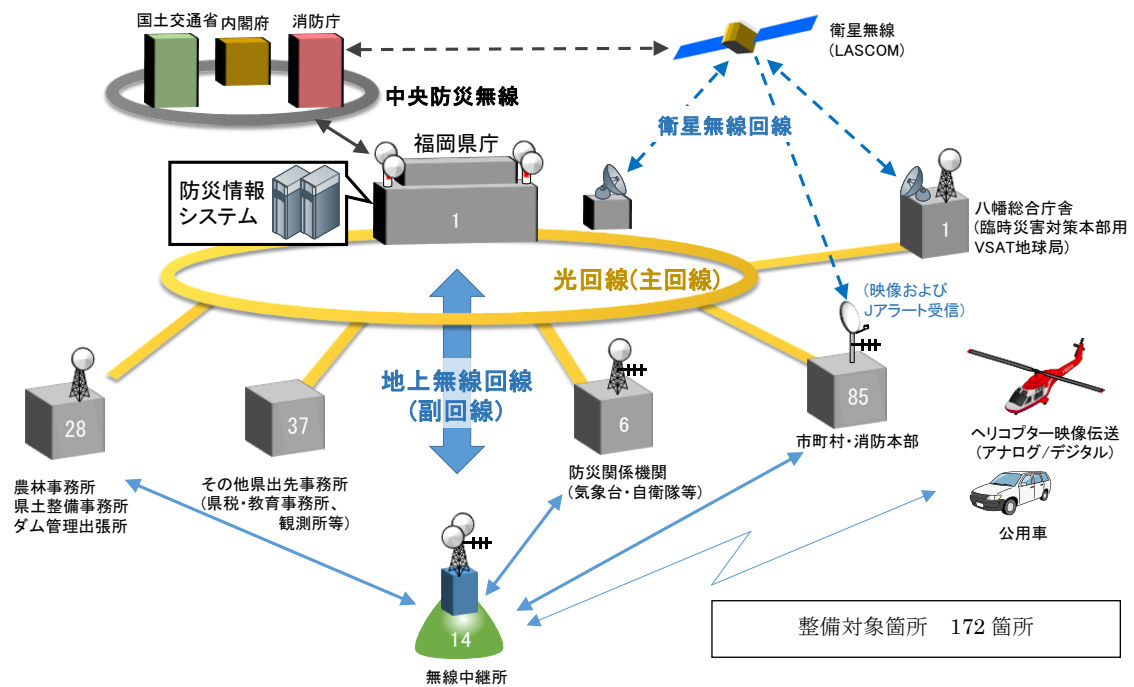
(1) 福岡県防災・行政情報通信ネットワーク

各種災害から県民の生活・財産を守り、災害に対する予防・応急復旧等の業務を迅速・的確に処理し、防災対策の強化を図る必要から、昭和57年2月に県と市町村（消防本部を含む）及び県出先機関並びに防災関係機関との間に無線電話回線を構成して、防災に関する情報の収集・伝達に成果をあげてきた。

また、今日の防災行政の高度化、多様化への対応と平常時における一般行政への活用を図るため、「福岡県防災・行政情報通信ネットワーク」を整備し、平成12年4月から運用している。

本ネットワークは、通信容量が小さく、映像や地図情報をはじめとする大容量データの通信ができない、通信方式が古く、国が整備したネットワークと接続ができないなど、昨今の防災情報の高度化には対応できなくなったため、高速・大容量の光回線と汎用性の高い通信方式を導入し、その基盤の上に国や市町村との緊密な連携や、住民への充実した情報伝達が可能となる防災情報システムを構築することで、さらに災害に強く、利便性の高いネットワークとして平成29年度から31年度にかけて再整備を行った。

福岡県防災・行政情報通信ネットワーク概念図



(令和5年度末現在)

(2)市町村防災行政無線

市町村は、災害時における気象注警報・地震情報や避難指示等の避難情報を、住民に対して直接伝達するという重要な責務を有しており、そのための通信手段として、市町村防災行政無線等を整備している。

また、市町村防災行政無線による音声情報が聞こえにくい状況を補完するため、携帯メールやインターネット等を利用した情報伝達手段の多様化についても取り組んでいる。

市町村防災行政無線等の整備状況(整備年度)

令和6年3月31日現在

市町村名	同報系	移動系
1 北九州市	H26	
2 福岡市	H23	H23
3 大牟田市	R3	R3
4 久留米市	H12	H23
5 直方市	H17	H18
6 飯塚市	H22	H29
7 田川市	H22	
8 柳川市	H25	H27
9 八女市	H24	S58
10 筑後市	H19	H19
11 大川市	H22	H22
12 行橋市	H21	H21
13 豊前市	H25	
14 中間市	H19	H19
15 小郡市	H27	R5
16 筑紫野市		R2
17 春日市		H24
18 大野城市	H14	S54
19 宗像市	H25	R3
20 太宰府市	H19	S48
21 古賀市	H29	R3
22 福津市	H21	H28
23 うきは市	H18	H18
24 宮若市	H29	
25 嘉麻市	H21	H21
26 朝倉市	H20	
27 みやま市	H24	H24
28 糸島市	H21	R2
29 那珂川市	H26	H26
30 宇美町	H28	H28
31 篠栗町	H26	R1
32 志免町	H26	S61
33 須恵町	R2	R2

市町村名	同報系	移動系
34 新宮町	H29	R3
35 久山町	R2	
36 粕屋町	H18	
37 芦屋町	H22	R1
38 水巻町	H21	H28
39 岡垣町	H21	H27
40 遠賀町	H21	R2
41 小竹町	R2	
42 鞍手町	H25	S60
43 桂川町	H25	H25
44 筑前町	H26	
45 東峰村	H19	
46 大刀洗町	R5	
47 大木町	H27	H27
48 広川町	H28	H29
49 香春町	H16	R4
50 添田町	R3	S57
51 糸田町	R3	R3
52 川崎町	H21	H8
53 大任町	R4	
54 赤村	H18	S62
55 福智町	H23	
56 荏田町	H20	H20
57 みやこ町	H28	
58 吉富町	H24	
59 上毛町	S60	
60 築上町	S63	H7
計	58	44

	整備率	
同報系	96.7%	(58 / 60)
移動系	73.3%	(44 / 60)
全 体	100.0%	(60 / 60)

※ 整備年度とは、現在運用中の施設の運用開始年度である。(複数運用している場合は最も古いもの。)